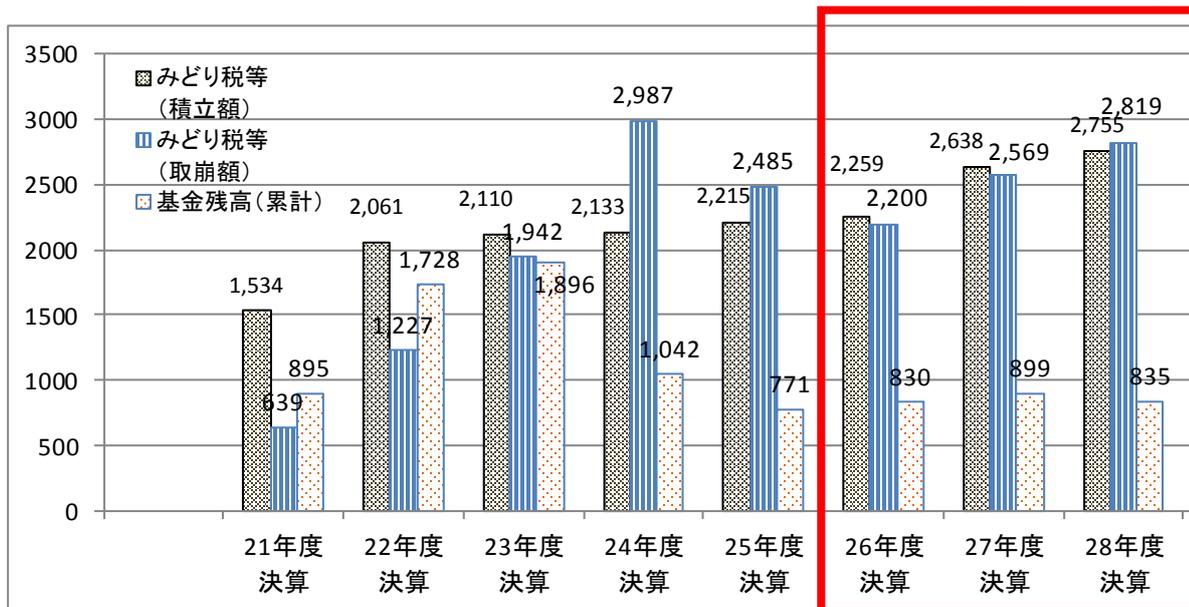


## ■ みどり基金の推移

(単位：百万円)

年度	21年度 決算	22年度 決算	23年度 決算	24年度 決算	25年度 決算	26年度 決算	27年度 決算	28年度 決算
みどり税等 (収入額)	1,534	2,061	2,110	2,133	2,215	2,259	2,638	2,755
内訳	個人分	1,416	1,610	1,614	1,617	1,631	1,644	1,658
	法人分	117	447	490	513	582	614	978
	運用益	1	4	5	4	2	2	2
みどり税等 (執行額)	639	1,227	1,942	2,987	2,485	2,200	2,569	2,819
基金残高(累計)	895	1,728	1,896	1,042	771	830	899	835

(単位：百万円)





## みどりアップ計画におけるみどり税の使途及び執行状況について

### 使途① 樹林地・農地の確実な担保

<b>取組の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む</b>		
事業①	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	
	<b>1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り</b>	<b>P 1～5</b>
事業②	生物多様性・安全性に配慮した森づくり	
	2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成（指定している民有地）	
	3 指定された樹林地における維持管理の支援	
<b>取組の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる</b>		
事業①	良好な農景観の保全	
	10 水田の保全（水稲作付を10年間継続することを条件に奨励金を交付）	
	13 多様な主体による農地の利用促進	
事業②	農とふれあう場づくり	
	<b>14 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設 （農園付公園の整備）</b>	<b>P 6～7</b>
<b>取組の柱 3 市民が実感できる緑をつくる</b>		
事業②	公共施設・公有地での緑の創出	
	24 公有地化によるシンボリックな緑の創出	

使途①の事業における3か年のみどり税充当額：3,818百万円

### 使途② 身近な緑化の推進

<b>取組の柱 3 市民が実感できる緑をつくる</b>		
事業①	民有地での緑の創出	
	19 民有地における緑化の助成	
	22 人生記念樹の配布	
事業②	公共施設・公有地での緑の創出	
	23 公共施設・公有地での緑の創出・管理	
	※24 公有地化によるシンボリックな緑の創出	
事業③	市民協働による緑のまちづくり	
	<b>26 地域緑のまちづくり</b>	<b>P 8～10</b>
事業④	子どもを育む空間での緑の創出	
	27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	
事業⑤	緑や花による魅力・賑わいの創出	
	<b>28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり</b>	<b>P 11～12</b>

※を除いた使途②の事業における3か年のみどり税充当額：1,590百万円

### 使途③ 維持管理の充実によるみどりの質の向上

<b>取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む</b>	
事業② 生物多様性・安全性に配慮した森づくり	
<b>2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成 (公有地化されている市有緑地や都市公園内の樹林地)</b>	<b>P13~15</b>
4 生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	
5 間伐材の有効活用の推進、活用方法の検討	
事業③ 森を育む人材の育成	
※6 森づくりを担う人材の育成	
※7 森づくり活動団体への支援	
<b>取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる</b>	
事業① 良好な農景観の保全	
12 農景観を良好に維持する取組の支援(農地周辺の不法投棄対策、牧草の栽培奨励、せん定枝等のたい肥化設備)	
<b>取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる</b>	
事業① 民有地での緑の創出	
※19 民有地における緑化の助成	
21 名木古木の保存	
事業② 公共施設・公有地での緑の創出	
※23 公共施設・公有地での緑の創出・管理	
25 いきいきとした街路樹づくり	
事業③ 市民協働による緑のまちづくり	
※26 地域緑のまちづくり	
事業④ 子どもを育む空間での緑の創出	<b>P15~17</b>
<b>※27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出(芝生等の維持管理)</b>	
事業⑤ 緑や花による魅力・賑わいの創出	
※28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり	

※を除いた使途③の事業における3か年のみどり税充当額:2,043百万円

### 使途④ ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

<b>取組の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む</b>	
事業③ 森を育む人材の育成	
<b>6 森づくりを担う人材の育成</b>	<b>P18~19</b>
7 森づくり活動団体への支援	
事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり	
8 森の楽しみづくり	
9 森に関する情報発信	
<b>取組の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる</b>	
事業② 農とふれあう場づくり	
14 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設(収穫体験農園の開設支援)	
<b>取組の柱3 市民が実感できる緑をつくる</b>	
事業③ 市民協働による緑のまちづくり	
※26 地域緑のまちづくり	

※を除いた使途④の事業における3か年のみどり税充当額:138百万円

3 事業  
(3)

## 1 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	5,878 百万円	677 百万円
平成 27 年度決算額	6,390 百万円	1,151 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	6,250 百万円	913 百万円
3 か年累積見込額 [d]	18,518 百万円	2,741 百万円
5 か年計画額 [e]	32,494 百万円	3,556 百万円

## 計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	57%	77%



## 3 か年の評価・検証

- 土地所有者への働きかけを積極的に実施することで指定実績は、3か年目標の9割に近い266.6haとなりました。
- 近年では、比較的小規模な樹林地で指定の働きかけを進めている案件が多くなっており、大面積での指定案件は少なくなっています。この傾向は、今後も続いていくと考えられます。
- 指定地での買入の希望に対して、横浜みどり税を活用して確実に対応してきたことで、67.0ha（約22ha/年）の樹林地を市有地として保全していくことができました。
- みどりアップ計画の取組が、樹林地所有者の間で広く知られるようになり、以前は指定に至らなかった案件の中でも、再度の働きかけの際に指定できた案件も増えてきました。目標達成のためには、このような事業の周知や PR、再度の働きかけも重要と考えています。

3 か年の総合評価

B



3 年間の実績詳細

■ 緑地保全制度による新規指定

制度	新規指定等		
	面積	区名	地区詳細
特別緑地保全 地区	121.6ha	鶴見	馬場五丁目地区 (0.4ha)、東寺尾六丁目地区 (0.9ha)、東寺尾六丁目南地区 (0.3ha)
		神奈川	片倉三丁目地区 (1.0ha)、三枚町牛道根地区 (0.2ha<指定拡大>)、三枚町矢崎地区 (0.2ha)、菅田町出戸谷地区 (0.2ha<指定拡大>)、菅田町堀上地区 (0.3ha<指定拡大>)、菅田町南出戸地区 (3.0ha)、羽沢町綿打地区 (0.4ha)、羽沢南三丁目地区 (0.4ha)
		港南	野庭町地区 (3.7ha)、野庭・上永谷地区 (1.1ha)
		保土ヶ谷	今井町多子谷地区 (2.1ha)、今井町美立橋地区 (5.0ha)、上菅田町金草沢東地区 (1.0ha)、境木本町地区 (0.8ha)、仏向町地区 (1.9ha)
		旭	市沢町日向地区 (0.6ha)、上川井町堂谷地区 (3.5ha)、上白根町小池地区 (2.7ha)、川島町二ノ沢地区 (0.8ha)、市沢町地区 (2.4ha<指定拡大>)、上川井町露木谷地区 (10.3ha)、川井本町地区 (2.3ha)、都岡町地区 (1.6ha)、上白根町後谷地区 (2.5ha)、三保地区 (0.2ha<指定拡大>)
		磯子	氷取沢町地区 (2.2ha)
		金沢	朝比奈地区 (3.9ha<指定拡大>)、六浦東三丁目地区 (0.6ha)、関ヶ谷地区 (2.8ha)、大道二丁目地区 (2.3ha)、富岡東五丁目地区 (0.9ha)
		港北	小机城址地区 (0.1ha<指定拡大>)、大曽根台地区 (0.7ha<指定拡大>)
		緑	北八朔町北地区 (1.2ha)、北八朔町中地区 (1.0ha)、北八朔町南地区 (2.5ha)、十日市場町笹山地区 (0.7ha)、長津田町深田地区 (1.5ha)、三保地区 (5.7ha<指定拡大>)、三保町東谷地区 (2.9ha)、三保町杉沢地区 (0.2ha)、三保町杉沢堰地区 (0.6ha)、寺山町本谷地区 (0.4ha)、長津田町馬ノ背地区 (0.8ha)
		青葉	恩田町地区 (4.4ha)、恩田町九郎治谷地区 (0.7ha)、恩田町番匠谷地区 (1.4ha)、恩田東部地区 (8.4ha<指定拡大>)、鉄町富士塚台地区 (0.8ha)、鉄町稲荷谷戸地区 (1.1ha)、奈良町宮ノ谷地区 (5.4ha)、元石川町平崎地区 (1.0ha)、元石川町平崎北地区 (1.2ha) 奈良町神戸地区 (0.4ha)、奈良町西ノ谷地区 (1.4ha)
		都筑	大圃町地区 (0.5ha)、池辺町滝ヶ谷戸地区 (0.3ha<指定拡大>)
		戸塚	下倉田町地区 (1.4ha)
		栄	上郷・中野地区 (2.4ha<指定拡大>)、上郷町瀬上地区 (1.5ha)
		泉	和泉町関島地区 (1.5ha)、和泉町天王森地区 (0.6ha)、和泉町早稲田地区 (1.8ha)、岡津町金堀谷地区 (0.5ha)、新橋町地区 (2.2ha)
瀬谷	阿久和南一丁目地区 (1.3ha)、本郷三丁目地区 (0.3ha)、宮沢三丁目地区 (0.3ha)		

(次頁に続く)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 - ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

市民の森等	34.0ha	鶴見	獅子ヶ谷地区 (0.03ha<指定拡大>)
		旭	今宿地区 (0.1ha<指定拡大>)、追分地区 (0.2ha<指定拡大>)、南本宿地区 (0.1ha<指定拡大>)、(仮称)上川井地区 (10.1ha)
		磯子	峯地区 (3.1ha<指定拡大>)、氷取沢地区 (0.8ha<指定拡大>)
		金沢	朝比奈北地区 (0.7ha<指定拡大>)、氷取沢地区 (9.7ha<指定拡大>)、釜利谷地区 (1.6ha<指定拡大>)、富岡東三丁目地区 (1.5ha<指定拡大>)
		緑	新治地区 (0.5ha<指定拡大>)、三保地区 (0.1ha<指定拡大>)
		青葉	(仮称) 恩田地区 (0.3ha<指定拡大>)
		都筑	池辺地区 (0.9ha<指定拡大>)
		戸塚	(仮称) 名瀬・上矢部地区 (3.9ha<指定拡大>)、舞岡ふるさとの森 (0.03ha<指定拡大>)
		栄	上郷地区 (0.1ha<指定拡大>)、瀬上地区 (0.2ha<指定拡大>)
		泉	新橋地区 (0.03ha<指定拡大>)
		瀬谷	瀬谷地区 (0.1ha<指定拡大>)
緑地保存地区	26.7ha		84 地区
源流の森保存地区	76.9ha		129 地区
寄附緑地等	7.4ha		
【合計】	266.6ha		

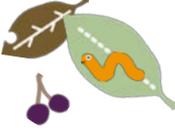


【写真】 恩田東部特別緑地保全地区 (青葉区)



【写真】 氷取沢町特別緑地保全地区 (磯子区)


 ■ 買入れ申し出への対応

制度	区名	地区名
特別緑地保全地区、 近郊緑地特別保全地区 (予定地含む) 	鶴見	駒岡・梶山地区、獅子ヶ谷・師岡地区、東寺尾六丁目地区、東寺尾六丁目南地区
	神奈川	三枚町地区、菅田町出戸谷地区、菅田町南出戸地区
	南	中里三丁目地区
	港南	芹が谷五丁目地区、野庭町地区
	保土ヶ谷	今井町多子谷地区、今井町美立橋地区、上菅田町金草沢東地区、川島地区
	旭	市沢町地区、猪子山地区、上川井町大貫谷地区、上川井町堂谷地区、上川井町堀谷地区、上白根町小池地区、川井本町地区、川島町二ノ沢地区、善部町地区、都岡町地区、鶴ヶ峰二丁目地区、南本宿地区、三保地区
	磯子	円海山地区、峰地区
	金沢	朝比奈地区、大丸山地区、釜利谷地区、大道二丁目地区
	港北	大曽根台地区、小机城址地区、綱島地区、日吉地区
	緑	鴨居四丁目地区、北八朔町中地区、北八朔町南地区、寺山町本谷地区、十日市場町笹山地区、長津田町深田地区、西八朔町藤林地区、三保地区(再掲)、三保町杉沢地区、三保町東谷地区
	青葉	恩田東部地区、恩田町番匠谷地区、鉄町富士塚台地区、寺家地区、奈良町神戸地区、元石川町平崎地区
	都筑	池辺町滝ヶ谷戸地区、池辺町八所谷戸地区
	戸塚	下倉田町地区、汲沢四丁目地区
栄	飯島町地区、円海山地区、大丸山地区、鍛冶ヶ谷地区、上郷・中野地区、公田・荒井沢地区	
泉	和泉町早稲田地区、岡津町金堀谷地区、鍋屋地区、古橋地区	
瀬谷	本郷三丁目地区	

(次頁に続く)

3 事業・取組の実績と評価・検証

(3) 各事業・取組の実績と評価・検証 — ア 市民とともに次世代につなぐ森を育む

市民の森等 	鶴見	獅子ケ谷地区、東寺尾地区
	旭	追分地区、南本宿地区
	磯子	峯地区
	金沢	富岡東三丁目地区
	港北	篠原城址地区、綱島地区
	緑	新治地区
	戸塚	深谷地区、舞岡地区
	栄	瀬上地区
	泉	新橋地区、中田地区
	瀬谷	瀬谷地区、東山地区
【合計】	84地区 67.0ha	



【写真】長津田町深田特別緑地保全地区  
(緑区)



【写真】市沢町特別緑地保全地区  
(旭区)

## 14 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

- 収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設支援や整備を進めます。

 **3か年の事業実績** ※数値は、端数処理を行っています。

### <事業の進捗状況>

		様々な市民ニーズに合わせた農園の開設			
		合計	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
	平成 26 年度実績	5.7ha	1.5ha	2.8ha	1.4ha
	平成 27 年度実績	4.6ha	1.0ha	2.2ha	1.4ha
	平成 28 年度実績	5.6ha	2.5ha	2.1ha	1.0ha
	3か年累積 [a]	15.9ha	5.0ha	7.1ha	3.8ha
5か年目標 [b]		25.8ha	12.5ha	6.0ha	7.3ha
3か年計画値 [c]		(15.5ha)	—	—	—
		目標・計画値に対する進捗率			
		合計	収穫体験農園	市民農園	農園付公園
5か年目標に対する進捗率 [a/b×100]		62% ◎	40% ○	118% ◎	52% ○
3か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]		103%	—	—	—

### <事業費の執行状況>

うち農園付公園：601 百万円

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	739 百万円	354 百万円
	平成 27 年度決算額	602 百万円	65 百万円
	平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	695 百万円	227 百万円
	3か年累積見込額 [d]	2,036 百万円	646 百万円
5か年計画額 [e]		2,514 百万円	1,101 百万円

### 計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		81% ◎	59% ○

うち農園付公園：64%

### ■ 農園付公園の整備

平成29年4月に2か所(1.0ha)が開園し、3か年で7か所(3.8ha)の農園付公園の整備を完了しました。

区	公園名	面積
鶴見	東寺尾一丁目ふれあい公園	0.3ha
神奈川	菅田町赤坂公園	0.4ha
保土ケ谷	今井の丘公園(拡張)	0.6ha
港北	師岡町梅の丘公園	1.0ha
都筑	大榎杉の森ふれあい公園	1.0ha
戸塚	ハマヤク農園	0.4ha
泉	泉が丘公園(拡張)	0.1ha

●市内の農園付公園  
 4.2ha/8か所(平成29年3月末時点)  
 ※平成25年度開園の南本宿第三公園  
 (0.4ha)を含む



【写真】今井の丘公園(保土ケ谷区)



【写真】菅田町赤坂公園(神奈川区)



#### 農園付公園の利用者の声

- ・野菜作りの経験はありませんでしたが、まわりの方からいろいろ助言をいただきながら野菜を育てています。
- ・野菜の世話をするために毎日公園に行くので、地域の人たちが自然と集まる場所になっています。

## 26 地域緑のまちづくり

- 地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、計画を実現していくための取組を、市民との協働で進めます。



## 3 年間の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

## &lt;事業の進捗状況&gt;

		地域緑化推進事業
	平成 26 年度実績	22 地区 (うち新規: 6 地区)
	平成 27 年度実績	26 地区 (うち新規: 4 地区)
	平成 28 年度実績	29 地区 (うち新規: 9 地区)
	3 年累積 [a]	35 地区
5 年目標 [b]		46 地区
3 年計画値 [c]		34 地区

## 目標・計画値に対する進捗率

		地域緑化推進事業	
5 年目標に対する進捗率 [a/b×100]	76%	◎	
3 年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	103%		

## &lt;事業費の執行状況&gt;

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	196 百万円	196 百万円
	平成 27 年度決算額	151 百万円	151 百万円
	平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	165 百万円	165 百万円
	3 年累積見込額 [d]	512 百万円	512 百万円
5 年計画額 [e]		931 百万円	931 百万円

		事業費	うち横浜みどり税
5 年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	55%	○	55% ○



### 3か年の実績詳細

#### ■ 新たに19地区と協定を締結しました

「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から、緑化計画の提案を公募し、緑化やまちづくりの専門家による提案計画づくりの支援を行い、3か年で19地区の団体と新たに協定を締結しました。

各地区では、緑化整備や緑の活動が行われ、地域の緑化推進に大きな成果を上げています。

#### <3か年の取組地区一覧>

##### <継続地区>

地区名	区名	協定締結年度
山手地区	中	H23
馬車道地区	中	H23
白根台第九地区	旭	H23
上白根国際地区	旭	H23
名瀬たかの台地区	戸塚	H23
上飯田地区	泉	H23
生麦・新子安地区	鶴見 神奈川	H24
みなとみらい21 中央地区	西	H24
錦が丘地区	港北	H24
末広地区	鶴見	H24
平楽地区	南	H24
みなとみらい21 新港地区	中	H25
牛久保西地区	都筑	H25
北寺尾地区	鶴見	H25
みなとみらい21 横浜駅東口・中央地区	西	H26
湘南桂台地区	栄	H26
合計		16地区

##### <新規地区>

地区名	区名	協定締結年度
洋光台一丁目地区	磯子	H26
六ツ川・永田地区	南	H26
柿の木台地区	青葉	H26
竹山三丁目地区	緑	H26
金沢文庫 すすらん通り地区	金沢	H26
中原三丁目地区	磯子	H26
東本郷地区	緑	H27
霧の里地区	緑	H27
初黄・日ノ出町地区	中	H27
上星川地区	保土ヶ谷	H27
菅田地区	神奈川	H28
鴨居・白山一丁目地区	緑	H28
大倉山つつみ通り地区	港北	H28
関内地区	中	H28
東山田四丁目地区	都筑	H28
石川町地区	中	H28
三保町宮根地区	緑	H28
日本大通り地区	中	H28
江田駅周辺地区	青葉	H28
合計		19地区

＜平成28年度取組状況＞

各地区では、地域の緑化計画に基づく緑化が進み、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動が盛んになりました。

また、整備された緑地を活用して、どの木にどんな鳥がくるかなど、生き物調査を通じた環境活動も盛んになっています。商業・住居系の地区では、少ないスペースを活用して、多くの人が目にする店先や沿道にプランターなどを用いて緑化することで、地区の緑化が進みました。

28年度は、全地区の推進団体と地域緑のまちづくりに興味のある方を対象として、活動報告&交流会を実施しました。活動報告では、協定締結期間を終了する11地区を代表して、5地区から、地域緑のまちづくりの取組を発表していただきました。



【写真】商業施設（公開空地）の緑化  
（みなとみらい21横浜駅東口・中央地区/西区）



【写真】沿道の緑化  
（江田駅周辺地区/青葉区）



【写真】商店前の沿道の緑化  
（上星川地区/保土ケ谷区）



【写真】花壇の植替えの様子  
（湘南桂台地区/栄区）



【写真】育樹のつどいの様子（植樹地の維持管理）  
（末広地区/鶴見区）



【写真】活動報告&交流会の様子  
（情報交換や地区同士の交流の場）

活動団体の声

・地域に花や緑が増えたことで、多くの方から「とてもきれいなまちになった」などの意見をいただいています。声を掛け合うきっかけにもなり、明るいコミュニティの輪がつけられていると感じています。

28 都心臨海部の緑花による賑わいづくり

- みなとみらい 21 地区から山下地区を中心とした都心臨海部で、緑花による魅力・賑わいづくりを進めます。
- いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街となるように、緑や花を良好に育てます。



3 年間の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

<事業の進捗状況>

	都心臨海部の緑化	緑化の維持管理
平成 26 年度実績	6 箇所	3 箇所
平成 27 年度実績	4 箇所	4 箇所
平成 28 年度実績	12 箇所	8 箇所
3 年累積 [a]	22 箇所	15 箇所
5 年目標 [b]	推進	推進
3 年計画値 [c]	推進	推進

<事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	173 百万円	146 百万円
平成 27 年度決算額	519 百万円	143 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	513 百万円	483 百万円
3 年累積見込額 [d]	1,205 百万円	772 百万円
5 年計画額 [e]	1,620 百万円	1,470 百万円

計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5 年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	74% ◎	53% ○



### 3か年の実績詳細

#### ■ 都心臨海部で緑花による賑わいづくりと維持管理を進めました

3か年でみなとみらい21地区から山下地区を中心としたのべ22か所で、緑や花による整備を進めました。また、山下公園や港の見える丘公園などのべ15か所で、バラ園や花壇等の維持管理を進めました。

実施か所	区名	都心臨海部の緑花	緑花の維持管理
アメリカ山公園	中区	実施	—
山下公園	中区	実施	実施
港の見える丘公園（西洋館含む）	中区	実施	実施
横浜公園	中区	実施	実施
元町公園（西洋館含む）	中区	実施	実施
山手イタリア山庭園（西洋館含む）	中区	実施	—
グランモール公園	西区	—	実施
日本大通り	中区	実施	実施
山下公園通り	中区	—	実施
桜木町駅前西口広場	中区	実施	—
東横線跡地（桜木町駅前）	中区	実施	—
新港中央広場	中区	実施	実施
象の鼻パーク	中区	実施	—
赤レンガパーク	中区	実施	—
カップヌードルミュージアムパーク	中区	実施	—
自動車道	中区	実施	—
日本丸メモリアルパーク	西区	実施	—



【写真】東横線跡地（桜木町駅前）の緑花整備（中区）



【写真】山下公園「未来のバラ園」の維持管理（中区）



【写真】港の見える丘公園（山手111番館）の緑花整備（中区）



【写真】港の見える丘公園「香りの庭」の維持管理（中区）

## 2 森づくりガイドライン等を活用した森の育成

### <事業費の執行状況>

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	392 百万円	251 百万円
	平成 27 年度決算額	431 百万円	281 百万円
	平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	476 百万円	337 百万円
	3 か年累積見込額 [d]	1,299 百万円	869 百万円
5 か年計画額 [e]		2,100 百万円	1,323 百万円

### 計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]		62%	◎
			◎



### 3 か年の評価・検証

- 市民の森、まとまった樹林のある公園等で保全管理計画の策定が進み、樹林地の特性に応じた保全管理のあり方について、愛護会等と共通の認識を持ちながら、維持管理を進めることができました。
- 樹林地の質を維持・向上させ、生物多様性の保全に資するため、市民協働による保全管理計画の策定等を推進するとともに、作業の結果を調査・検証し、維持管理作業を見直しながら継続的に行っていくことが必要です。
- 市が取得した樹林地の総量は年々増加しており、これに対応した新たな管理手法の検討が必要です。

3 か年の総合評価

B



### 3か年の実績詳細

#### ■ 森づくりガイドライン等を活用した維持管理

市民の森、市有緑地及び都市公園内のまとまった樹林地を対象に、維持管理の技術指針である「森づくりガイドライン」や森ごとに定めた「保安全管理計画」に基づき、間伐や下草刈り等の維持管理を実施しました。



【写真】維持管理を実施した樹林地

(左：緑区/北八朔公園 右：旭区/今宿市民の森)

#### ■ 保安全管理計画の策定

森ごとに具体的な管理の計画を定めた「保安全管理計画」を、愛護会などと連携して策定しました。

	策定か所	区名
市民の森等	東寺尾ふれあいの樹林	鶴見
	境木ふれあいの樹林	保土ヶ谷
	関ヶ谷市民の森	金沢
	綱島市民の森	港北
	もえぎ野ふれあいの樹林	青葉
	上郷市民の森	栄
	飯島市民の森	栄
	名瀬北特別緑地保全地区	戸塚
まとまった樹林地のある都市公園	久良岐公園	港南
	港南台中央公園	港南
	こども自然公園	旭
	北八朔公園	緑
	玄海田公園	緑
	大塚・歳勝土遺跡公園	都筑
	鴨池公園	都筑
	茅ヶ崎公園	都筑
	都筑中央公園	都筑
	小菅ヶ谷北公園	栄
	本郷ふじやま公園	栄
	瀬谷貉窪公園	瀬谷



【写真】

保安全管理計画の策定 検討会の様子  
 (戸塚区/名瀬北特別緑地保全地区)

**27 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出**

- 子どもを育む空間である、保育園、幼稚園、小中学校において、多様な緑を創出します。
- 芝生等を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。



**3か年の事業実績** ※数値は、端数処理を行っています。

＜事業の進捗状況＞

		緑の創出	芝生等の維持管理
	平成 26 年度実績	50 か所	推進
	平成 27 年度実績	32 か所	推進
	平成 28 年度実績	36 か所	推進
	3 か年累積 [a]	118 か所	推進
5 か年目標 [b]		100 か所	推進
3 か年計画値 [c]		60 か所	推進

目標・計画値に対する進捗率

		緑の創出	芝生等の維持管理
5 か年目標に対する進捗率 [a/b×100]	118%	◎	—
3 か年計画値に対する進捗率 [a/c×100]	196%		—

＜事業費の執行状況＞

		事業費	うち横浜みどり税
	平成 26 年度決算額	70 百万円	10 百万円
	平成 27 年度決算額	64 百万円	9 百万円
	平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	57 百万円	11 百万円
	3 か年累積見込額 [d]	191 百万円	30 百万円
5 か年計画額 [e]		463 百万円	75 百万円

計画額に対する進捗率

		事業費	うち横浜みどり税
5 か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	41%	○	40% ○



### 3か年の評価・検証

- 園庭や校庭の芝生化のみならず、ビオトープや樹木による緑化等に対しても支援するよう事業内容を拡充した結果、3か年で5か年目標値を達成したほか、多様な緑を創出することにつながりました。
- 子どもたちが日常的に利用している芝生やビオトープを、常に良好な状態で維持していくためには、施設管理者へのフォローアップが重要であり、今後も継続した技術支援が必要です。

3か年の総合評価

A



### 3か年の実績詳細

#### ■ 緑の創出

校庭・園庭の芝生化に加え、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場所で、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑が増えました。

区名	市立小学校・ 保育園	民間保育所・ 幼稚園	区名	市立小学校・ 保育園	民間保育所・ 幼稚園
鶴見	7か所	4か所	金沢	2か所	1か所
神奈川	7か所	3か所	港北	—	5か所
西	2か所	—	緑	4か所	3か所
中	3か所	3か所	青葉	7か所	3か所
南	12か所	1か所	都筑	5か所	3か所
港南	4か所	1か所	戸塚	4か所	1か所
保土ヶ谷	7か所	2か所	栄	7か所	1か所
旭	2か所	2か所	泉	3か所	—
磯子	4か所	1か所	瀬谷	4か所	—
			【計】	84か所	34か所

#### <実施内容ごとの内訳>

校庭・園庭芝生化	ビオトープ	樹木による植栽	花壇など
43か所	30か所	38か所	24か所

※複数の緑化を実施した施設があるので、か所数の合計は一致しません。

### ■ 芝生等の維持管理

みどりアップ計画に基づき緑化した芝生や植栽の維持管理について、費用の一部を支援するのと合わせて、芝生の維持管理についての技術講習会と専門家による訪問指導を実施しました。また、ピオトープの整備や維持管理について、専門家による訪問指導を実施しました。

- ・費用の一部を支援した箇所数：のべ 300 か所以上
- ・芝生の維持管理について 研修会：8回 専門家による訪問指導：99回
- ・ピオトープの専門家による訪問指導：27回



【写真】〔整備〕樹木による緑化  
(捜真学院/神奈川区)



【写真】〔整備〕園庭の芝生化  
(菅田保育園/神奈川区)



【写真】〔管理〕芝生維持管理の訪問指導  
(パレット保育園大豆戸/港北区)



【写真】ピオトープ整備計画作りの訪問指導  
(長津田第二小学校/緑区)

### 利用者の声

- ・芝生の専門家に直接話を聞いたり質問できてよかったです。
- ・ピオトープに導入する動植物や、授業での活用方法がわかりました。

## 6 森づくりを担う人材の育成

- 森づくり活動に取り組む団体のスキルアップにつながる研修を実施します。
- 森づくりボランティア登録者を対象とした研修を開催するとともに、ボランティアが森づくり活動団体へ加入するための橋渡しを行います。  
また、森づくりに関する情報発信を行います。



### 3か年の事業実績 ※数値は、端数処理を行っています。

#### <事業の進捗状況>

	森づくり活動団体向けの 研修の実施	森づくりボランティアへの 情報発信（ニュースレター発行）
平成 26 年度実績	16 回	4 回
平成 27 年度実績	14 回	4 回
平成 28 年度実績	11 回	4 回
3か年累積 [a]	41 回	12 回
5か年目標 [b]	推進	推進
3か年計画値 [c]	推進	推進

#### <事業費の執行状況>

	事業費	うち横浜みどり税
平成 26 年度決算額	9 百万円	9 百万円
平成 27 年度決算額	6 百万円	6 百万円
平成 28 年度決算見込額 ※平成 29 年 4 月 30 日時点の数値	6 百万円	6 百万円
3か年累積見込額 [d]	21 百万円	21 百万円
5か年計画額 [e]	41 百万円	41 百万円

#### 計画額に対する進捗率

	事業費	うち横浜みどり税
5か年計画額に対する執行率 (見込) [d/e×100]	51% ○	51% ○



### 3か年の実績詳細

#### ■ 森づくりを担う人材を育成するための研修

研修名	回数	対象者	
		団体	登録者
「森づくりリーダー養成講座」	4回	○	
「これも覚えよう！30種」(スキルアップ講座)	16回	○	○
「調査・モニタリング研修」(スキルアップ講座)	1回	○	
「作業実習」(スキルアップ講座)	3回	○	
「救急救命講習会」(スキルアップ講座)	2回	○	
「森づくりボランティア基本研修」(必須研修)	2回	○	
「森づくり活動団体基本研修」(必須研修)	4回	○	
「森づくりボランティア入門講座」	9回		○
【計】	41回		



#### 研修参加者の声

- ・樹皮だけで樹木を同定できない場合でも、冬芽を参考にする  
ことで樹木判定に活かそう。(これも覚えよう！30種)
- ・横浜の森を守るためにいかにボランティアの力が大切かわかっ  
た。次世代に森を残すために自分も何かしたい。(入門講座)
- ・ハサミ・ノコギリの使い方、手入れの仕方は大変役に立った。  
非常に充実した研修会であった。(作業研修)



【写真】

「森づくり活動団体基本研修」の様子  
(緑区/新治市民の森)

#### ■ 森づくりボランティアの橋渡し

森づくり活動団体に受け入れていただき、森づくりボ  
ランティア登録者による杉林の間伐作業を、団体会員の  
指導を受けながら実施しました。

#### ■ 森づくりに関する情報発信

森づくりボランティアや森づくり活動団体に向けた  
森づくりに関する情報発信として、『よこはまの森ニ  
ュースター』を年間で4回発行しました。

＜支援対象＞(平成28年度末時点)

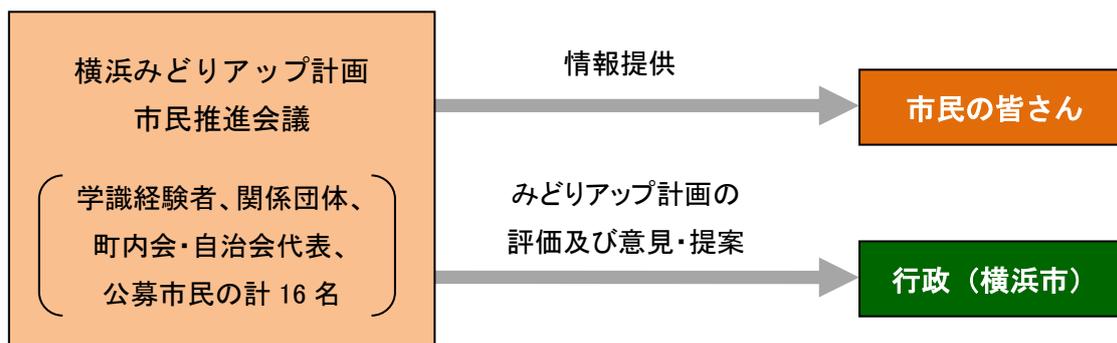
森づくり活動団体	73団体
森づくりボランティア	130人



## 横浜みどりアップ計画市民推進会議について

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の皆様への情報提供等を行うことを目的として、平成21年に設置し、平成24年からは条例設置の附属機関に位置付けました。これまでに全体会議や専門部会の開催に加え、参加市民を公募した現地調査を実施し、市民意見の聴取にも努め、計画の評価、提案を行ってきました。

みどりアップ計画を推進するうえで、市民推進会議のこのような取組は大きな役割を果たしており、平成26年度からのみどりアップ計画についても、継続して活動しています。



### (1) 委員構成

学識経験者（4名）、関係団体（6名）、町内会・自治会代表（1名）、公募市民（5名）、計16名

	氏名（敬称略）	役職等
座長	進士 五十八	福井県立大学 学長
副座長	薦谷 栄一	農的社会デザイン研究所 代表
	相川 健志	公募市民
	網代 宗四郎	横浜市町内会連合会 委員
	東 みちよ	公募市民
	池田 信彦	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
	池邊 このみ	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
	岩本 誠	三保市民の森愛護会 会長
	大竹 斎子	公募市民
	加茂 千津子	公募市民
	清水 靖枝	長屋門公園管理運営委員会 事務局長
	長瀬 里佳	公募市民
	野路 幸子	横浜市中央農業委員会委員
	望月 正光	関東学院大学 経済学部 教授
	舩山 功	横浜農業協同組合 常務理事
	若林 史郎	横浜商工会議所 常任参与

平成29年11月末現在

## (2) 活動状況

平成 26 年 5 月から平成 29 年 11 月末までに、以下の活動を行いました。

### ① 市民推進会議（全体会議） 8 回

市民推進会議の全体会議において、部会の構成や調査の実施など年間の活動内容を確認し、横浜みどりアップ計画の内容、進捗状況について説明を受けて、質疑応答、意見交換を行いました。

### ② 施策別専門部会 9 回

取組の柱ごとに施策別専門部会を設置し、事業分野ごとに、詳細に説明を受け、意見交換、提案検討を行いました。

### ③ 調査部会（現地調査） 6 回

横浜みどりアップ計画の取組を実感し、現場で活動する方々の声を直接聞くため、現地調査を実施しました。

	開催日程	場所・内容
第 12 回	平成 26 年 9 月 9 日	場所：東俣野町の水田、名瀬町の樹林、柏尾町の保育園及び戸塚区総合庁舎の緑化（いずれも戸塚区） 内容：水田保全奨励事業、緑地保全制度、民間保育園の園庭緑化、公共施設の緑化を調査し、山林所有者の方、保育園の園長先生と質疑応答を行った後、意見交換を行いました。
第 13 回	平成 26 年 10 月 1 日	場所：追分・矢指市民の森（旭区）、恩田町・田奈町の水田（青葉区）、都心臨海部の緑花（西区、中区） 内容：森づくりガイドライン等を活用した維持管理事業、水田保全奨励事業、地域緑のまちづくりの現地を調査し、市民の森愛護会の方、水田の水利組合組合長、緑化された民間施設の管理者の方と質疑応答を行った後、開港記念会館で意見交換を行いました。
第 14 回	平成 27 年 9 月 7 日	場所：横浜自然観察の森、自然観察センター、上郷・森の家（いずれも栄区） 内容：自然観察センターのレンジャーの方から、ウェルカムセンターの施設や取組について説明を受け、樹林地を歩きながら、小学生向け宿泊体験学習を視察した後、意見交換を行いました。
第 15 回	平成 27 年 11 月 14 日	場所：東寺尾ふれあいの樹林、東寺尾一丁目ふれあい公園、地域緑のまちづくり北寺尾地区（いずれも鶴見区）、みなとみらい 2 1 新港地区 8 街区（中区） 内容：公園の指定管理者、ボランティアリーダー、地域緑のまちづくりを行う団体の会長から説明を受け、緑地保全制度により保全された樹林地、農園付公園、地域緑のまちづくり、港湾緑地を調査した後、ナビオス横浜で一般参加者と意見交換を行いました。
第 16 回	平成 28 年 9 月 17 日	場所：地域緑のまちづくり柿の木台地区、もえぎ野ふれあいの樹林、恩田町の水田（いずれも青葉区） 内容：緑化の整備を行った柿の木台地区を歩き、取組や緑化の説明を受けました。また、もえぎ野ふれあいの樹林では、愛護会の方から維持管理内容の内容を聞き、みどりアップ計画により保全した水田のあぜ道を歩き、活動内容等の説明を受けました。その後、四季菜館で一般参加者と意見交換を行いました。
第 17 回	平成 29 年 11 月 11 日	場所：茅ヶ崎公園、メゾンふじのき台、大原みねみち公園（いずれも都筑区） 内容：茅ヶ崎公園や大原みねみち公園の緑道を歩き、良好な森を育成する取組の推進について、土木事務所職員や愛護会、森づくり活動団体から説明を受けた後、都筑区役所で一般参加者と意見交換を行いました。

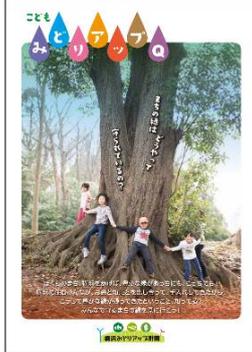
④ 広報・見える化部会 15回

横浜みどりアップ計画や横浜みどり税についての情報提供のあり方の検討や広報誌の編集を行っています。

各年度3号ずつを目安に市民推進会議広報誌「みどりアップQ」(平成26年6月までは「濱RYOKU」)を発行し、駅や主要な公共施設のPRボックスや、各区役所、土木事務所、公園緑地事務所の公共施設で配布しています。

平成27年度には、みどりアップQの別冊として、みどりアップ計画を広く子どもたちに知ってもらうためのリーフレットを発行し、子どもが参加するフォーラムイベントを企画・開催しました。

・市民推進会議広報誌「みどりアップQ」の発行 11回

<p>第1号 平成26年11月発行</p> 	<p>第2号 平成27年1月発行</p> 	<p>第3号 平成27年3月発行</p> 	<p>第4号 平成27年7月発行</p> 
<p>第5号 平成27年11月発行</p> 	<p>第6号 平成28年3月発行</p> 	<p>子どもリーフレット(別冊) 平成28年3月発行</p> 	<p>第7号 平成28年9月発行</p> 
<p>第8号 平成28年12月発行</p> 	<p>第9号 平成29年2月発行</p> 	<p>第10号 平成29年9月</p> 	

【参考】第 37 回 広報・見える化部会

開催日：平成 30 年 4 月 21 日（土）

活動内容：里山ガーデンにて、広報・見える化部会の市民公募委員自らが、今までに発行した市民推進会議広報誌「みどりアップQ」やパネルを用い、横浜みどりアップ計画について感じたことをPRしました。



広報・見える化部会による  
横浜みどりアップ計画 PR ブース



横浜みどりアップ計画について  
説明する市民委員



(3) 横浜みどりアップ計画（計画期間：平成 26-30 年度）3 か年の評価・提案

計画全体として、柱ごとに数多くの取組で着実な推進が図られています。

「取組の柱1：市民とともに次世代につなぐ森を育む」については、みどりアップ計画の根幹の事業である樹林地の指定は、3 か年の目標量（300ha）に近いペースで進捗しています。来年度の目標の達成に向け引き続き取組を進めてください。また、良好な森を育成する取組や、森と市民をつなげる取組が着実に進められたことを評価します。

「取組の柱2：市民が身近に農を感じる場をつくる」については、水田保全奨励など、主要な取組については概ね目標を達成していますが、共同利用設備の整備など目標を達成できていない取組もあります。横浜に残る貴重な水田景観の保全に向け、引き続き取組を進めてください。また、多様な農園があることで、市民の多様なニーズに応じることができるので、今後もそれぞれの農園の開設を進めてください。

「取組の柱3：市民が実感できる緑をつくる」については、民有地における緑化の助成では、目標値の半分程度の件数にとどまっています。今後は、より市民や事業者を利用しやすいような制度への見直しも必要かもしれません。保育園・幼稚園・小学校での緑の創出については、多様なかたちで、子どもが緑にふれる場を生み出していることを評価します。公共施設や都心臨海部などで創出された緑は、今後も良好に維持していくことが重要です。

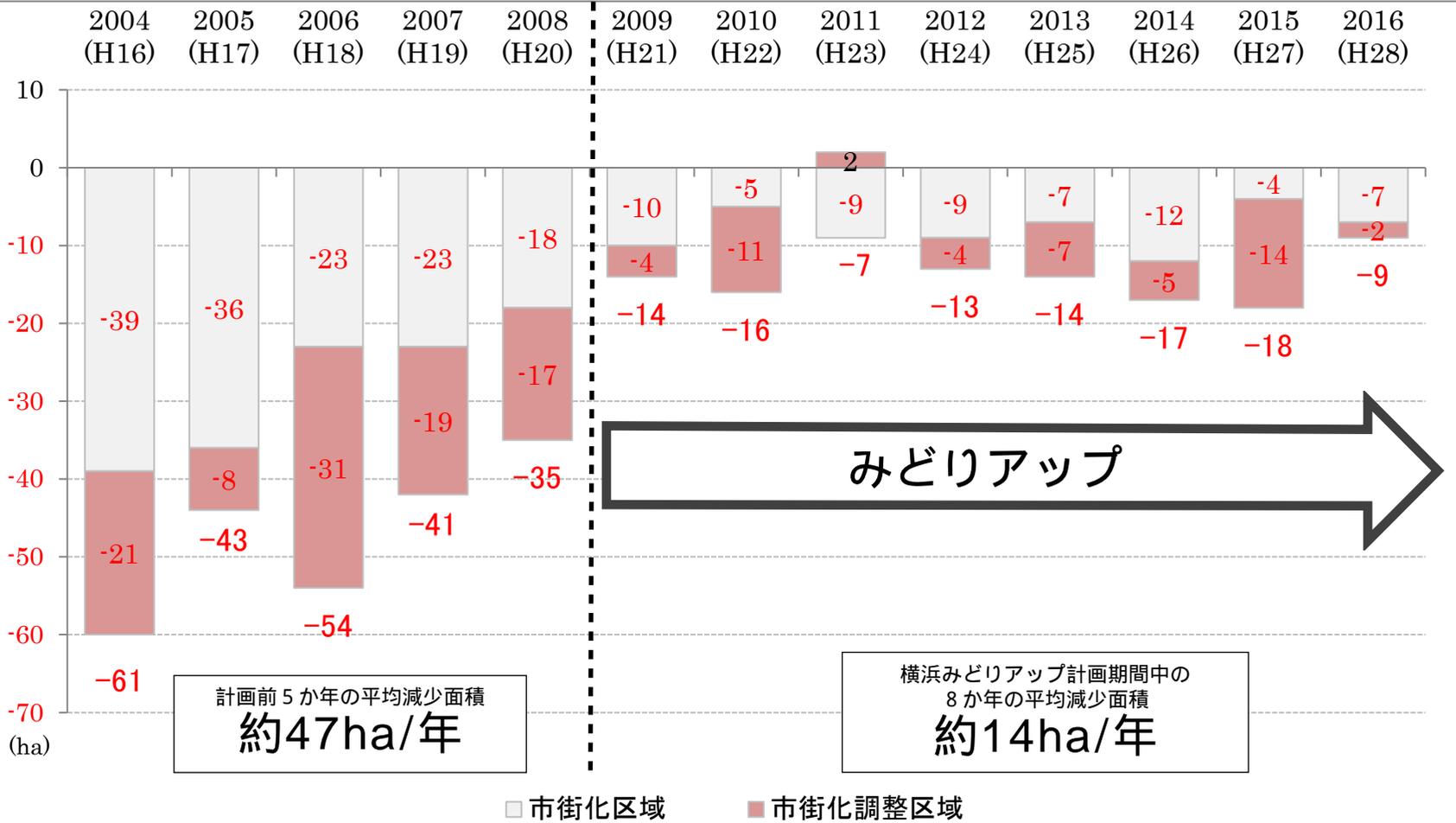
「効果的な広報の展開」については、アニメーションを活用したPRなど、新たな試みが広がる中で、より市民の視点からの広報が行われるようになったことを評価します。

3か年で具体化された多くの取組を、引き続き、作っただけでなく有効に活用しながら、みどりアップ計画の成果を一層実感してもらうことが重要です。

みどりアップ計画は、関係する市民や団体、事業分野が多岐にわたるので、市民生活により身近な区役所などと連携した取組が進むことを期待します。

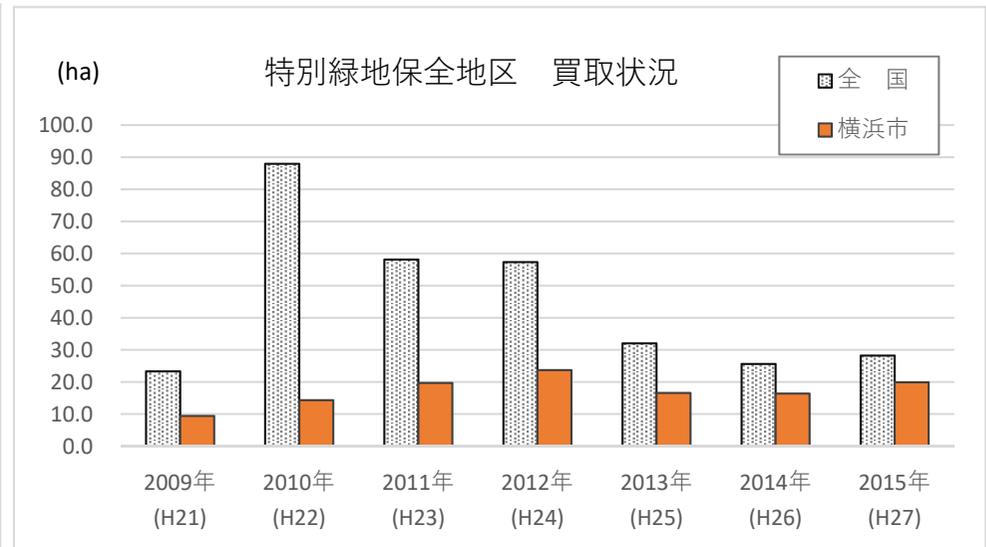
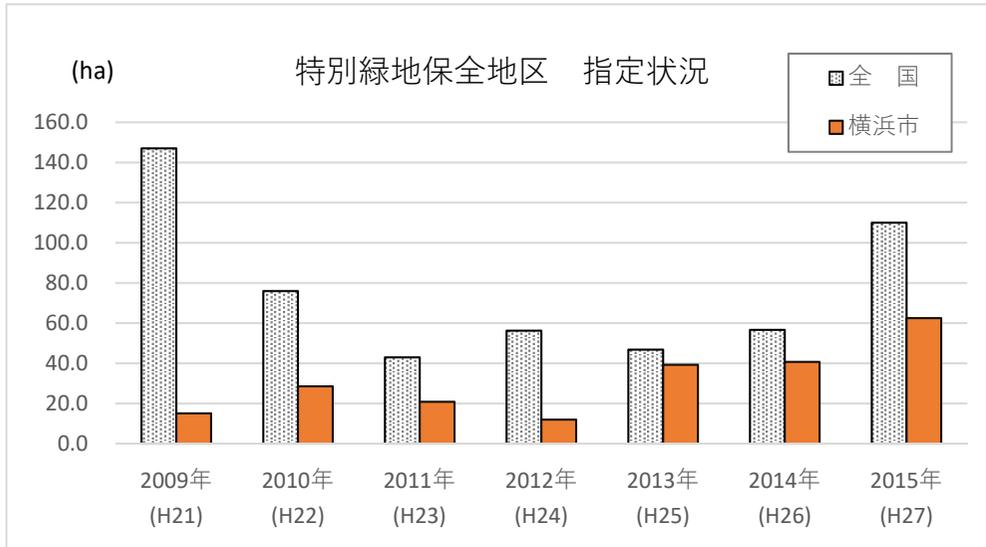
平成 28 年度は、みどりアップ計画の5か年の折り返しの年でしたが、目標達成に向けて取組が着実に推進されることを期待します。







特別緑地保全地区 指定・買取状況（平成21年度以降）



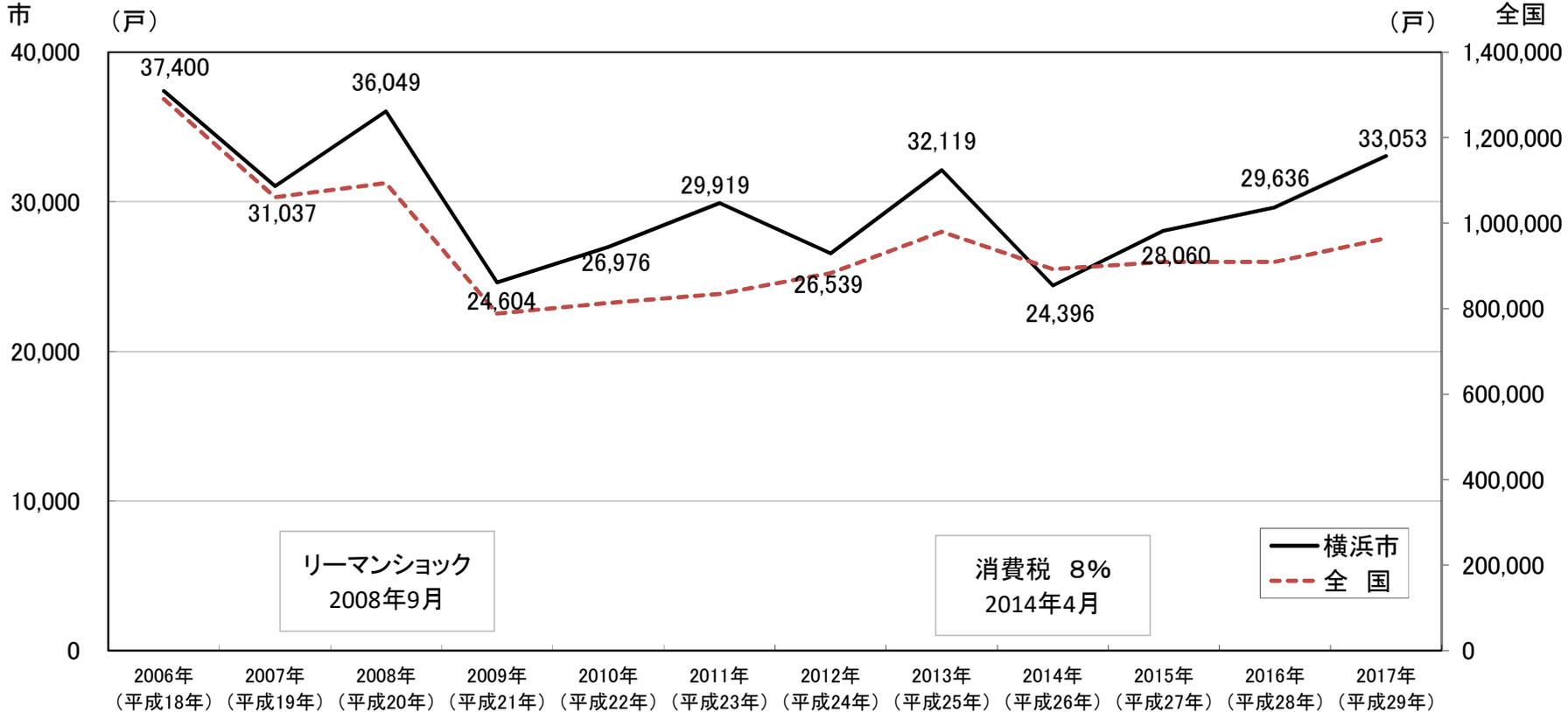
※「都市緑化及び緑地保全施策の実績調査報告書」（国土交通省）より

都市名 (特緑指定面積)	全国 (2681.4ha)		横浜市 (415.1ha)		神戸市 (479.9ha)		名古屋市 (199.2ha)		川崎市 (126.3ha)		福岡市 (117.5ha)	
	指定 (ha)	買取 (ha)	指定 (ha)	買取 (ha)	指定 (ha)	買取 (ha)	指定 (ha)	買取 (ha)	指定 (ha)	買取 (ha)	指定 (ha)	買取 (ha)
2008年以前	2145.6	-	196.0	-	459.8	-	183.3	-	89.4	-	114.7	-
2009年 (H21)	147.0	23.3	15.1	9.4	1.8	0	0.9	0	0	4.6	0	0.7
2010年 (H22)	76.0	87.9	28.6	14.3	0	0	6.3	0.9	6.6	7.3	1.9	0.9
2011年 (H23)	43.0	58.1	20.9	19.7	0	0	0	0	11.1	7.3	0.9	1.2
2012年 (H24)	56.3	57.3	12	23.7	0	0	5.5	0	10.2	2.9	0	0.5
2013年 (H25)	46.8	32.0	39.3	16.6	0	0	3.2	0	1.5	3.8	0	0.8
2014年 (H26)	56.7	25.6	40.7	16.4	0	0	0	0	5.6	5.2	0	0.5
2015年 (H27)	110.0	28.2	62.5	19.9	18.3	0	0	0	1.9	2.2	0	0.5
H21-H27 計	535.8	312.4	219.1	120.0	20.1	0.0	15.9	0.9	36.9	33.3	2.8	5.1
合計	2681.4		415.1		479.9		199.2		126.3		117.5	

※ 特別緑地保全地区 指定面積上位5政令市について記載



新設住宅着工戸数の推移



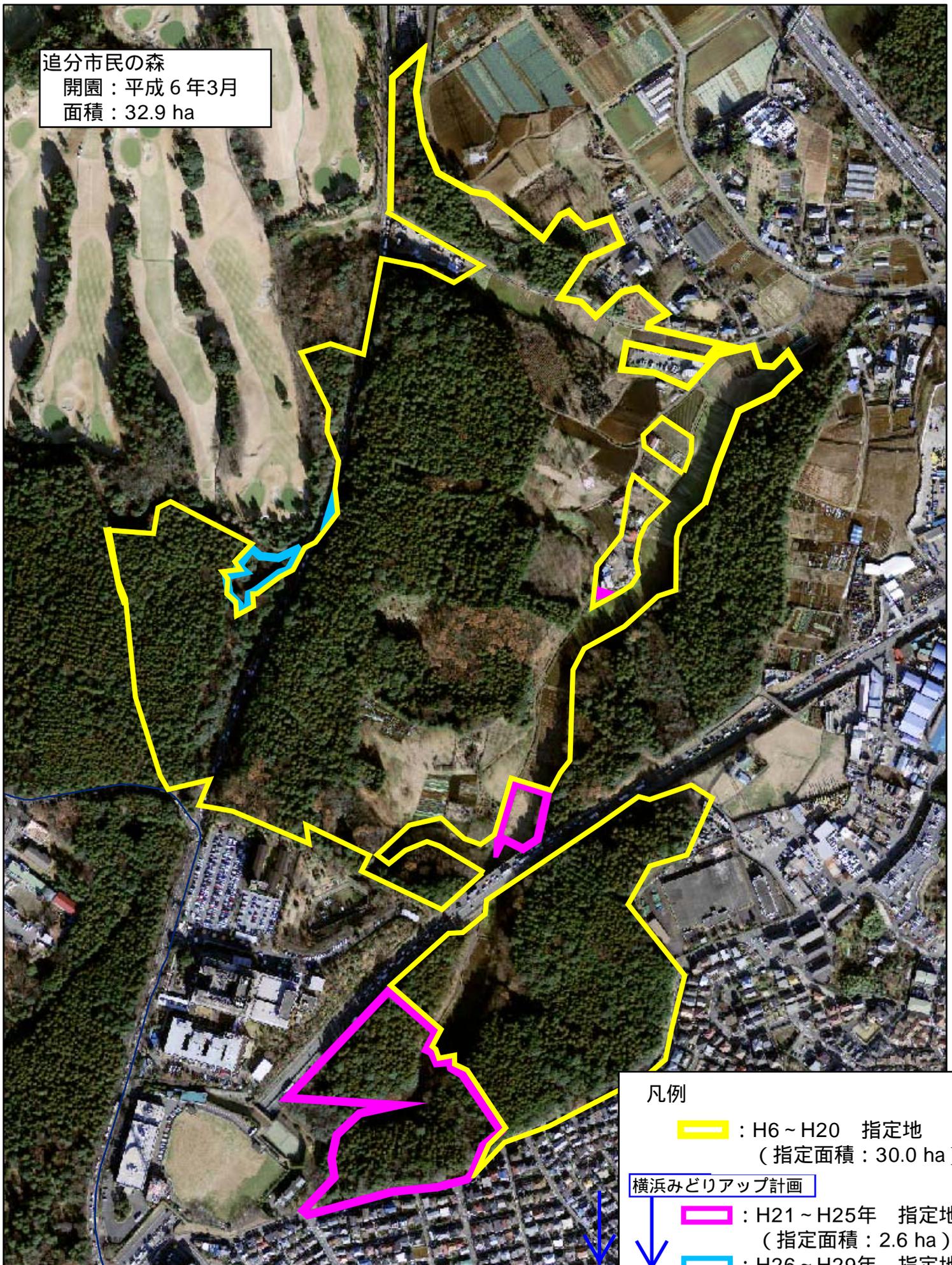
国土交通省「住宅着工統計」より

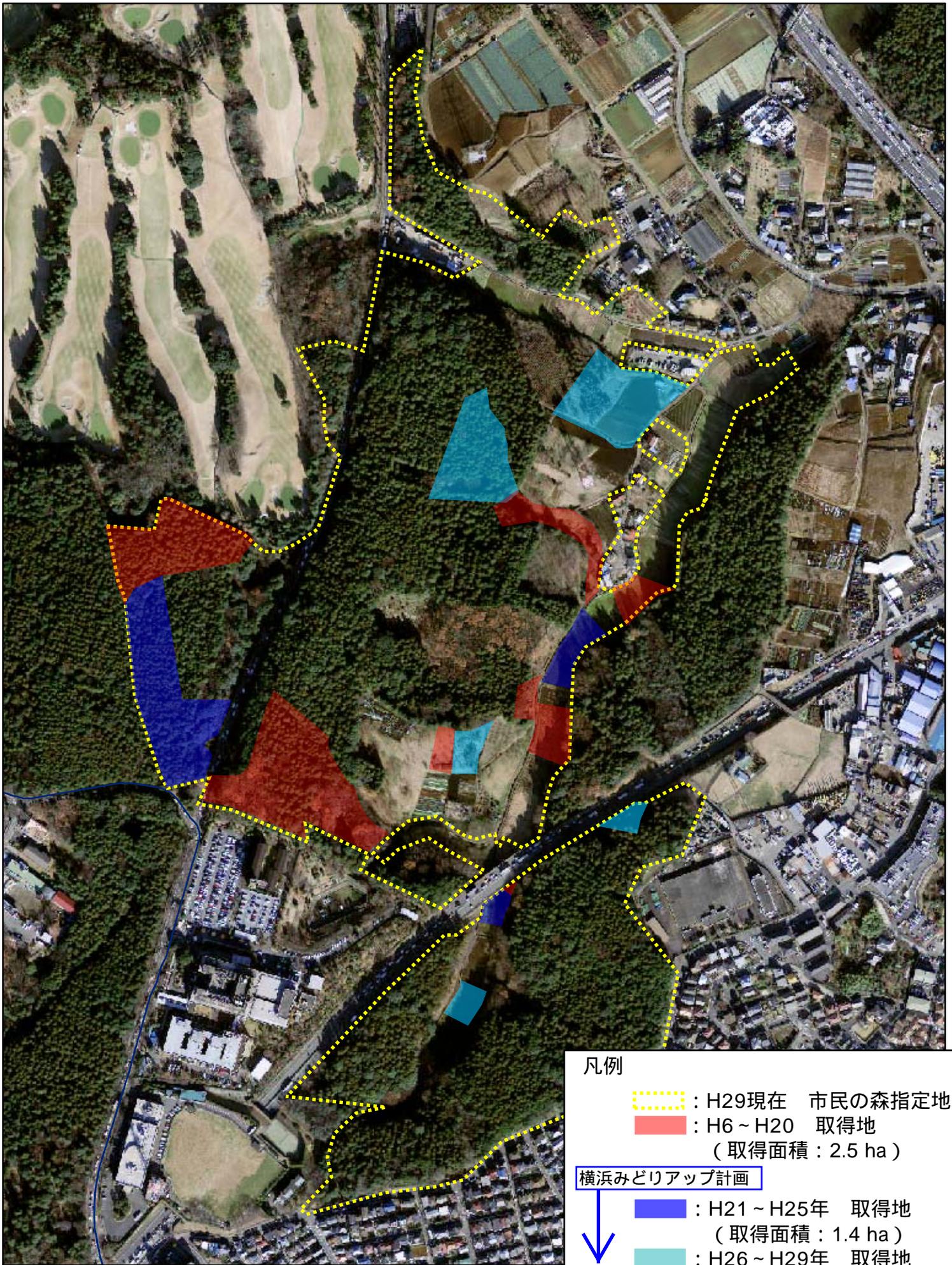
URL: <http://www.e-stat.go.jp/SGL/estat/GL08020101.do? toGL08020101 &tstatCode=000001016966&requestSender=search>

	2006年 (平成18年)	2007年 (平成19年)	2008年 (平成20年)	2009年 (平成21年)	2010年 (平成22年)	2011年 (平成23年)	2012年 (平成24年)	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)
横浜市	37,400	31,037	36,049	24,604	26,976	29,919	26,539	32,119	24,396	28,060	29,636	33,053
全国	1,290,391	1,060,741	1,093,485	788,410	813,126	834,117	882,797	980,025	892,261	909,299	909,299	964,641

	1994年 (平成6年)	1995年 (平成7年)	1996年 (平成8年)	1997年 (平成9年)	1998年 (平成10年)	1999年 (平成11年)	2000年 (平成12年)	2001年 (平成13年)	2002年 (平成14年)	2003年 (平成15年)	2004年 (平成16年)	2005年 (平成17年)
横浜市	41,189	37,987	45,289	40,501	35,183	40,497	45,564	42,818	42,094	36,746	43,244	38,217
全国	1,570,252	1,470,330	1,643,266	1,387,014	1,198,295	1,214,601	1,229,843	1,229,843	1,151,016	1,160,083	1,189,049	1,236,122







この図面は位置

0 50 100 200 300 400 500メートル

1:5,000

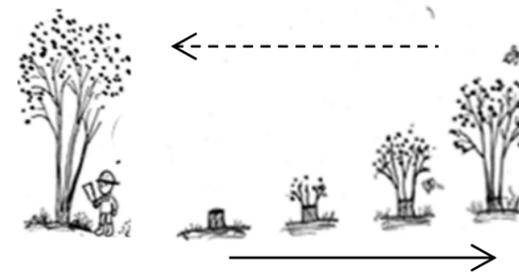
# ～ 保全管理計画（H21年策定）に基づく維持管理 ～

市民の森愛護会と平成21年に保全管理計画を策定。その後も管理作業や検証をともに行いながら、良好な森づくりを進めています。

愛護会向けニュースレター「よこはまの森ニュースレター」より抜粋

## 【作業例】萌芽更新による雑木林再生の取組（過高木の安全対策・生物多様性向上）

コナラ、クヌギなどの明るい雑木林。萌芽更新を行うことで、色とりどりの花を咲かせる多彩な林床植物を育成するなど、良好な生態系と景観を維持する。



10～15年サイクルで雑木林を再生

### 追分市民の森・矢指市民の森 保全管理 順調に進行中！

かつての土手の風景が戻ってきました！  
追分市民の森・矢指市民の森は平成21年秋に保全管理計画を策定し、計画にもとづいた管理作業を開始しました。冬に、谷戸の農地に面した土手の再生にむけた作業を行い、眠っていた植物が芽吹くなど、さっそく効果が表れはじめました。



＊アドバイザー派遣で次のステップへ＊  
作業の甲斐あって、再生への兆しが見られましたが、次の課題も出てきました。芽生えた植物やそれを利用する生き物に配慮した管理方法です。そこで、「アドバイザー派遣」制度を活用し専門家による指導を受けました。草刈作業の時期や刈る高さ、モニタリングについて助言を受け、次への道筋が見えてきました。



樹高15m。過高木による枯れが見られ、倒木や園路に枯れ枝が落下する危険性高い



萌芽が順調に成長。ササの刈取りを適時行い、林床をコントロールする。



明るい雑木林に成長。ドングリがなり、林床には希少な草本類が発生。

— 管理によって見られるようになった生き物 —



